

科目名	ドイツ語 2 A					単位	1.0
担当教員	玉井 威						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	4304

●授業のテーマ

初級ドイツ語文法

●到達目標

初級ドイツ語文法と簡単な会話の習得し、あわせてドイツ文化の理解を深める。

●学習内容(授業概要)

ドイツ語の初級文法の習得とやさしい会話、および読解の能力をつけることを目指す。週に一度という限られた授業時間の中でドイツ語を習得することは決して容易ではない。復習は必ずおこない、また、自分でテレビやラジオでおこなわれているドイツ語講座などを活用することによって、つねにドイツ語にふれる機会を持つことが望ましい。外国語学習には十分な動機づけが必要なので、将来ドイツに行ってみるとか、ドイツ語の本を読むとか、自分なりに目標を持って欲しい。授業時にはまたドイツ語の背景にあるドイツ文化一般についてもできるだけ広く紹介し、動機づけの一助としたい。なお、参考文献、辞書などについては授業時に指示する。

●学習内容(授業計画)

初級文法の続き

1. 前期分の復習
2. 前置詞、
3. 従属接続詞、非人称の *e s*
4. 練習問題 (2、3の文法事項)
5. 話法の助動詞 (1) 可能、願望
6. " (2) 許可、義務
7. 分離動詞
8. 練習問題 (5、6、7文法事項)
9. 形容詞の格変化
10. *z u* 不定詞
11. 練習問題 (9、10の文法事項)
12. 動詞の3基本形
13. 現在完了
14. 練習問題 (12、13の文法事項)
15. ドイツのクリスマス、ドイツの料理

●準備学習・事後学習の内容

分からない単語があれば、事前に辞書を引いて調べておくこと。復習を必ず行なうこと。

●成績評価方法・基準

学期末試験の成績で9割、平常点で1割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：クロイツング・ネオ、著者名：小野寿美子、中川明博、西巻丈児、出版社：朝日出版社、販売先：(株)Do

●参考文献／その他

授業時に指示。

●履修上の注意

辞書は毎回持参すること。ドイツ語を復唱するときは声に出すこと。